

NY マーケットレポート (2017 年 5 月 22 日)

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、新規材料に乏しい中、米政権運営への警戒感などを背景に円買い・ドル売りが進み、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。ただ、米株価が堅調な動きとなったことで、ドル円・クロス円は底固い動きとなった。

一方、ドイツのメルケル首相が、ユーロは安すぎると発言したことで、欧州市場からユーロはドルや円など主要通貨に対して堅調な動きとなった。

2017年 5月22日 (月)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	111.30	111.61	111.15
EUR/JPY	124.34	124.89	124.12
GBP/JPY	144.50	145.09	144.14
AUD/JPY	83.01	83.08	82.80
EUR/USD	1.1171	1.1210	1.1164

LONDON	高値	安値
USD/JPY	111.50	111.24
EUR/JPY	125.30	124.30
GBP/JPY	145.02	144.40
AUD/JPY	83.26	82.95
EUR/USD	1.1246	1.1162

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	111.23	111.41	110.94
EUR/JPY	125.04	125.27	124.73
GBP/JPY	144.58	145.01	144.40
AUD/JPY	83.17	83.25	83.05
NZD/JPY	77.82	77.82	77.56
EUR/USD	1.1241	1.1263	1.1229
AUD/USD	0.7478	0.7489	0.7467

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20894.83	+89.99
S&P500	2394.02	+12.29
NASDAQ	6133.62	+49.91
日経225 (CME)	19685	0
トロント総合	15458.46	+181.26
ボルサ指数	48943.46	-124.01
ボベスパ指数	61673.49	-965.82

5/23 経済指標スケジュール

13:30	【日本】3月全産業活動指数
14:00	【日本】4月全国スーパー売上高
14:00	【シンガポール】4月消費者物価指数
15:00	【スイス】4月貿易収支
15:00	【日本】4月工作機械受注
15:00	【日本】4月百貨店売上高
15:00	【ドイツ】1Q GDP
15:45	【フランス】5月企業景況感指数
15:45	【フランス】5月生産アウトロック指数
16:00	～ 17:00
16:00	【仏】【独】【欧】5月製造業PMI・非製造業PMI
16:00	【南アフリカ】3月景気先行指数
16:30	【スウェーデン】4月失業率
17:00	【ドイツ】5月IFO[景気動向]
17:30	【英国】4月公共部門純借入所要額
17:30	【英国】4月公共部門純借入額
19:00	【英国】5月CBI流通取引調査[報告済売上高]
20:30	【トルコ】5月設備稼働率
20:30	【トルコ】5月景気動向指数
21:30	【カナダ】3月卸売売上高
22:00	【メキシコ】3月小売売上高
22:45	【米国】5月マークイット米国製造業PMI
22:45	【米国】5月マークイット米国サービス業PMI
23:00	【米国】5月リッチモンド連銀製造業指数
23:00	【米国】4月新築住宅販売件数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1261.40	+7.80
NY 原油	50.73	+0.40
CME コーン	375.00	+2.50
CBOT 大豆	956.50	+3.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.274%	1.266%
3年債	1.449%	1.444%
5年債	1.792%	1.775%
7年債	2.056%	2.041%
10年債	2.248%	2.231%
30年債	2.909%	2.894%

ドイツ10年債	0.397%	0.368%
英国 10年債	1.088%	1.093%

5/23 主要会議・講演・その他予定

- ・EU経済・財務相理事会
- ・米2年債入札

NY 市場レポート

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

4 月シカゴ連銀全米活動指数 0.49 (予想 0.11・前回 0.07)

前回発表の 0.08 から 0.07 に修正



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀シカゴ連銀全米活動指数▶

4月・・3月・・2月・・1月・・12月・・・11月

活動指数・・・0.49・・0.08・・0.15・・-0.21・・0.48・・-0.14

3ヵ月平均・・0.24・・0.01・・0.16・・0.04・・0.10・・-0.07

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1Q メキシコ GDP (季調前/前年比) 2.8% (予想 2.7%・前回 2.7%)

1Q メキシコ GDP (季調済/前期比) 0.7% (予想 0.6%・前回 0.6%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

＜メキシコ GDP＞

1Q・・・4Q・・・3Q・・・2Q・・・1Q
 前年比・季節調整前・・・2.76・・・2.34・・・2.04・・・2.60・・・2.16
 前期比・季節調整済み・・・0.67・・・0.73・・・1.08・・・0.06・・・0.45

英国総選挙（6月8日）の政党支持率（5月19日現在）

保守党 44%（5月12時点 49%）、労働党 35%（31%）、自由民主党 9%（9%）、英国独立党 3%（3%）、
 緑の党 2%（2%）、スコットランド民族党 5%（5%）。

ECB 公的部門購入プログラム

5月19日・5月12日・5月5日・4月28日・4月21日
 公的部門・・・15464.0・・・15347.7・・・15227.3・・・15119.6・・・14978.8
 資産担保証券 ABS・・・238.4・・・238.1・・・237.2・・・237.3・・・243.3
 カバード債・・・2192.2・・・2186.0・・・2174.4・・・2163.7・・・2161.1
 （億ユーロ）

1:05

＜ 要人発言 ＞

カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「今年あと2回の利上げは適切」
- ・「インフレ率2%目標に向けた進展ペースは遅い」
- ・「原油価格、今年は40ドル台半ばから50ドル台半ばを予想」
- ・「バランスシート、年内縮小を開始するべき」
- ・「米経済、完全雇用にかなり近づいている」

＜ NY 債券市場 ・ 午前 ＞

序盤のニューヨーク債券市場は、今週の一連の米国債入札を控えてポジション調整の売りに押される一方、ロシア政府が昨年の米大統領選に干渉したとされる疑惑を巡り、トランプ政権の先行き不透明感が強まっていることから逃避的に買う動きも出た。

午前利回りは、30年債が2.91%（前週末2.90%）、10年債が2.24%（2.23%）、7年債が2.05%（2.05%）、5年債が1.78%（1.78%）、
 3年債が1.44%（1.45%）、2年債が1.28%（1.27%）。

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英FT100指数は、原油価格の上昇が支援材料となり押し上げられた。
 一方、独DAX指数はユーロ高を受けて収益悪化懸念から輸出関連株が売られたことが影響し、小幅安となった



出所：Bloomberg

<< NY 金市場 >>

NY 金は、中心限月が前日比 7.80 ドル高の 1 オンス=1261.40 ドルで取引を終了した。

NY 金はドルが主要通貨に対して下落し、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。また、トランプ米大統領とロシアとの関係を巡る疑惑を背景に金を逃避的に買う動きも見られた。終値ベースでは、4 月下旬以来、約 3 週間ぶりの高値水準となった。

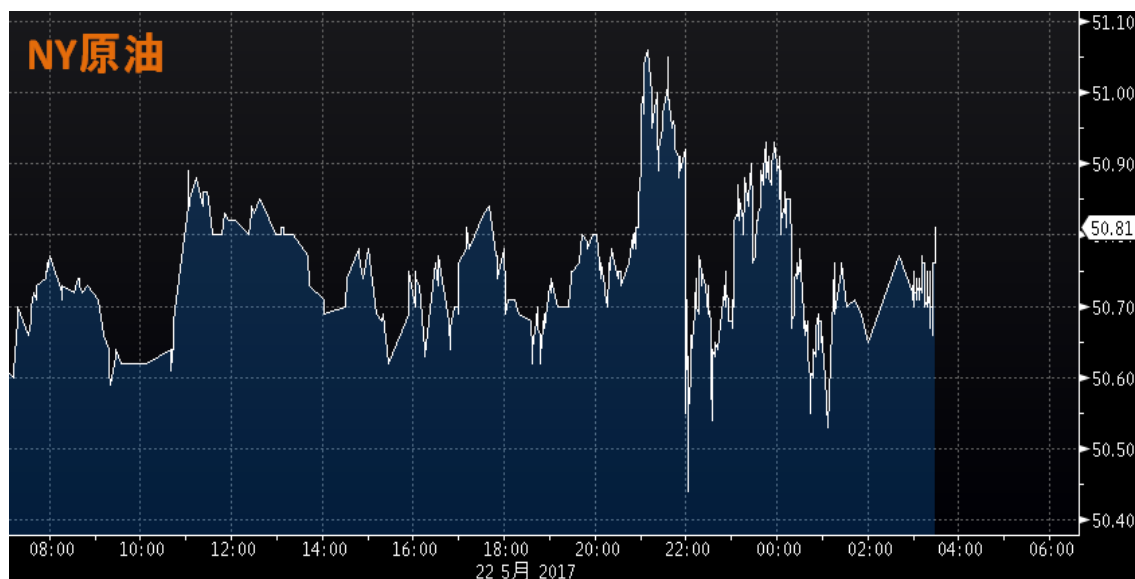


出所 : Bloomberg

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、中心限月が前日比 0.40 ドル高の 1 バレル=50.73 ドルで取引を終了した。

NY 原油は今週の OPEC 総会を控えて、主要産油国が協調減産を来年 3 月まで延長することで足並みをそろえろとの見方が強まり、買いが優勢となった。終値ベースでは、4 月中旬以来約 1 ヶ月ぶりの高値となった。



出所 : Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、原油先物相場の上昇などを背景に投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、米政権運営への警戒感から、減税政策などが遅れるとの懸念から上値の重い動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時、前週末比 109 ドル高まで上昇した。その後は、終盤まで上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、新規材料に乏しい中、米政権運営への警戒感などを背景に円買い・ドル売りが進み、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、円が買われたことから、クロス円も軟調な動きとなった。ただ、原油価格や米株価が堅調な動きとなったことから、ドル円・クロス円は終盤にかけて値を戻す動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。